

本学の新型コロナウイルス感染防止対策について（2022年9月5日更新）

いまだ新型コロナウイルスが収束したとは言えない状況ではありますが、本学では「基本的な感染防止行動」を徹底しながら、徐々に「コロナ前の生活」に近づけています。

◆学生玄関

学生玄関ではサーマルカメラを設置し、検温を実施しています。サーマルカメラは一度に30人まで測定可能です。「37.5℃」以上の方が通過すると警告音と発光でお知らせします。





玄関には手指消毒用のアルコール消毒液が設置されています。学生は入校時、必ず手指を消毒します。



◆正面玄関



◆学務課 窓口

カウンターには、飛沫防止対策の亚克力パーテーションを設置しています。また、対応する教職員は、必ず不織布マスクを着用します。



◆フリースペース

マリアホール（学生食堂、ラーニングcommons）、学部ラウンジ等のフリースペースには、
アクリルパーテーションを設置し、飛沫感染のリスクを軽減しています。
また、飲食をするときは「黙食」を徹底するとともに、座席の移動を禁止しています。

・学生食堂



換気には十分気を配っています。特に飲食をする場所（マリアホール、学部ラウンジ、大学院ラウンジ）、人が密集する場所（体育館）にはCO₂センサーを設置し、1,000ppmを越えるとアラーム音がなり、窓やドアを開けることになっています。



・ラーニングコモンズ



・ 学部ラウンジ



・ 大学院ラウンジ





ソファやベンチも、着席できないところをわかりやすく表示しています。また、すべての座席に付番がしてあり、自分が着席した座席番号、日時を「行動記録カード」に記録することになっています。



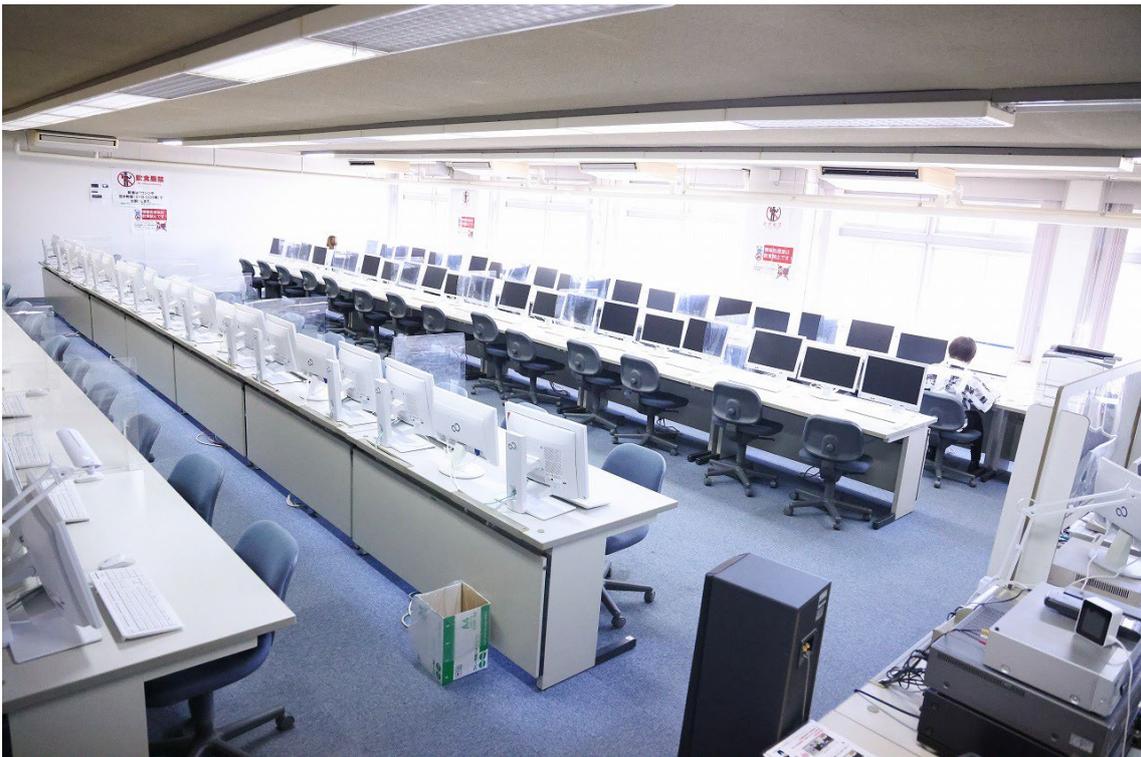


◆図書館





◆情報処理室





以上